

令和8年度 事業計画

公益財団法人前橋観光コンベンション協会

令和8年度は、当協会の各事業を推進するとともに、令和9年度の観光地域づくり法人(DMO)登録申請を目指し、組織全体でデータに基づく戦略的な観光地経営への転換を図る重要な年度と位置付ける。

観光庁が定める必須 KPI をはじめとする各種観光データ収集や分析を、コンベンション事業、広報宣伝事業、観光振興事業の各分野において横断的に実施し、エビデンスに基づいた事業評価と改善のサイクルを確立する。これにより、持続可能で効果的な観光地域づくりの基盤を構築し、前橋市の観光振興とコンベンション誘致のさらなる発展を目指す。

I. コンベンション事業

予算額 57,973,000 円

前橋市への経済効果を目的にコンベンション、スポーツ大会等主催者となる大学や企業、コンベンション・スポーツ大会等関係団体等から情報を収集・分析し、これらの情報を活用して商談会や説明会、トレードショー等に参加することによる誘致活動を行う。また、コンベンションの主催者に対して前橋ならではの財政的援助等の支援を行うことで、コンベンション・スポーツ大会等誘致の推進を図る事業

(1) 誘致支援事業

大規模コンベンションのみならず中小規模のコンベンション、サテライト会議やスポーツ大会などを誘致するため、下記事業を実施する。

① 「誘致訪問」事業

首都圏のコンベンション本部や前橋市内の国公立大学、協会・団体・スポーツ大会主催者等を中心に個別訪問するセールス活動並びに実施プレコンベンション視察及びコンベンション参加者へのPR活動の展開

② 「7都市情報交換会」事業

全国各ブロック内の同規模7都市で連携しながら、情報共有し誘致促進を図る・「第31回7都市情報懇談会」(予定:2027.1) ※2026年度は鹿児島市が幹事都市それぞれの都市で開催されたコンベンションを他都市に紹介し合う事により誘致推進を図るイベントを開催

③ 「トレードショー(展示会・見本市)」等出展事業

*主な出展予定

JAST(日本スポーツツーリズム推進機構)と共同出店

・「Japan Sports Week」(予定:2026.4.15~17・東京ビックサイト)

・「Sportec2027」(予定:2026.7.8~10・東京ビックサイト)

群馬県と共同出店

・「第36回国際MICEエキスポ」(予定:2027.2)

④ 「キーパーソン(開催地決定権者)視察受入」事業

各種学会・スポーツ大会等のキーパーソンを直接前橋へ招請し、主要コンベン

ション施設やスポーツ大会会場のPR等の実施

⑤「開催サポート」事業

- ・「コンベンション誘致促進助成金交付」「スポーツ大会等開催助成金交付」市内でのコンベンション、スポーツ大会の開催促進を目的に、誘致活動の一環として、大会運営費の一部を助成金として交付
- ・コンベンションやスポーツ大会等開催支援活動として、コンgresバック、各種パンフレット等の提供
- ・前橋市内で開催される当協会が支援するコンベンション等へ「前橋の天然水アカギノメグミ」などの提供
- ・前橋市内で開催される当協会が支援するコンベンションやスポーツ大会等について、来訪者を歓迎するとともに市民によるホスピタリティの醸成を図るためJR前橋駅前周辺へ歓迎フラッグ及び駅構内へ横断幕の設置や、デジタルサイネージに歓迎メッセージを表示

⑥ユニークベニューを活用した事業

ホームページを活用することで国指定重要文化財「臨江閣」等をユニークベニュー会場とした特別感のあるおもてなしの誘致

⑦コンベンションやスポーツ大会等の開催に付随したエクスカーション事業

プレ・アフターコンベンションにおけるエクスカーションの企画・提案

⑧コンベンションやスポーツ大会等の共催による開催支援事業

国際交流サッカー大会（U-12）前橋市長杯共催

(2) 広報宣伝事業

コンベンション・スポーツ大会等の環境及びアフターコンベンションとしての前橋観光を周知するためホームページを充実させることで効率的な広報・宣伝活動を実施する。

(3) 企画調査事業

前橋市におけるコンベンションやスポーツ大会等の開催スケジュール等の調査・関連事業者への周知及びJCCB（日本コンgresコンベンションビューロー）、JSTA（日本スポーツツーリズム推進機構）等との連携を推進する。

- ① コンベンション、スポーツ大会等開催スケジュールを調査し、関連事業者へ周知するため、協会ホームページにコンベンションカレンダーを掲載
- ② JCCB総会、部会等、JSTAセミナー等への参加
新たな情報入手による誘致活動への活用
- ③ 前橋市に誘致環境が類似する都市を調査し、次年度以降に誘致強化のための情報連携

(4) 人材育成啓発事業

前橋市内開催のコンベンション、スポーツ大会等事業を支える関連業界と情報交換等を行い、育成・啓発を図り、受入環境の整備を図る。

① 受入業界情報交換

来橋者に直結する施設・ホテル・ツアーリスト関係者との意見交換等の実施

② 職員参加研修

職員の資質向上のための各種研修会への参加

③ その他

コンベンション、スポーツ大会受入関連業界との事業共催、協賛の実施

II. 広報宣伝事業

予算額 96,987,000 円

前橋市及びその周辺地域の新たな観光資源の発掘プロジェクト等に対する助成や観光事業、フィルムコミッション事業等の推進により観光資源の造成を図り、観光プロモーション、観光キャンペーンの実施や各種の観光PR事業を行うとともに、前橋市、群馬県、近隣市町村、観光協会等と連携して広域観光の推進を図ることにより、観光客の誘致に取り組む事業

1. 観光資源の造成

(1) フィルムコミッション事業

① 映画、テレビ番組、映像配信番組、コマーシャルフィルム、アニメーション等の撮影・制作支援

- ・フィルムコミッション相談窓口での撮影相談対応
- ・関係機関への活動内容周知及び協力要請など
- ・撮影サポーター登録及び参加要請

② 映画、テレビ番組、コマーシャルフィルム等の撮影の誘致

- ・ホームページでサービス内容及び撮影地情報提供

③ 映像文化啓発、情報発信事業

- ・事業内容をホームページ等で紹介(市民、地元マスコミ、制作会社向け)
- ・市民向けの啓発活動(「それいけ!前橋出前講座」など)
- ・支援作品のプロモーション協力
- ・作品(コンテンツ)を活用したシティプロモーション、誘客促進事業

④ 撮影支援情報収集

- ・撮影活動のために必要な各種情報の収集
- ・地域連携構築のために、ぐんまフィルムコミッションが開催する研修等に参加

(2) 観光地域づくり・担い手育成事業

①着地型ツアーの実施、調査研究

前橋市及び赤城山周辺エリアの事業者等と連携してエリアブランディングを行うとともに、持続可能な環境保護保全や、地域経済の循環に寄与するツアー等(e-bike 利用、徒歩など)の造成や調査研究

- ・秘密の絶景ツアー
- ・サイクルステーション等を拠点とした e-bike レンタルでのセルフツアー

②体験観光商品づくりの支援等

- ・市内のスポットや各種体験を、ターゲットに遡及するコンテンツに磨き上げ、WEB サイトに掲出する等、顧客接点強化を実施
- ・訪日観光客の受け入れも視野に入れた体験観光商品づくりを通じた観光地づくりの支援や担い手育成、商品流通のサポート
- ・民間事業者等を対象とした事業者向けセミナーの実施

③関係人口の創出

- ・イベントや地域課題解決のためのボランティア活動等、来訪者と地域住民の交流の場の創出
- ・「山」と「街」双方の魅力を活かした前橋ならではの企業・個人向けワーケーションプログラムの開発
- ・市内宿泊施設、コワーキング施設、観光事業者等との連携によるワーケーション受入体制の推進

(3) 観光客の受け入れ環境整備と周遊促進

①観光案内看板の管理、修繕

②サイクリストの面的受入環境整備

サイクリング中の休息や簡易な自転車修理ができる拠点(サイクルオアシス)として前橋を含む広域エリアに設置し地域のホスピタリティ向上を育み、エリア周遊促進

③インバウンド受け入れ環境整備

- ・多言語ユニバーサル情報発信ツールの活用(パンフレットのデータ化)
- ・窓口での外国語対話アプリの活用
- ・ホームページの多言語化
- ・JNTO 観光案内所に多言語対応スタッフを設置

④旅行者への旅行企画提案営業

旅行者やマスコミ等に対し、前橋への招聘を行い、視察受入れを実施するとともに、旅行商品の造成に向けた営業活動を実施。

2. 観光PR事業

(1)データ志向の広報宣伝

アンケートや体験予約の顧客データ、ホームページ等の WEB 解析データ等に基づき、前橋市及び赤城山周辺エリアのプロモーションを行う。ターゲットに向け、自社媒体及び各種広報広告媒体を効果的に活用し宣伝活動・情報発信を行う。

- ①売上データや WEB 解析データのほか、スタンプラリーや各種事業で収集するアンケートデータ等を解析し、観光需要に合致したプロモーションの実施
- ②プロモーション用の写真や動画の撮影
- ③着地型観光パンフレットやポスターの作成・設置
観光案内所や前橋市内のホテル・旅館などで観光案内に活用する着地型観光パンフレット等の作成及び設置
 - ・前橋観光情報誌（前橋旅本）
 - ・前橋全域マップ（まえばし観光マップ）
 - ・まちなか案内マップ（前橋まちなか&新前橋駅周辺マップ）
 - ・赤城山登山ルート案内マップ（百名山赤城山マップ）
 - ・ロケ地(聖地巡礼)マップ
 - ・赤城南面千本桜まつり等地域プロモーションポスター
- ④テレビ、新聞、雑誌、ラジオ等への情報提供、タイアップ及び広告の掲出
- ⑤自社 HP やソーシャルメディアを活用した広報宣伝及びプロモーション事業
 - ・WEB サイト等を活用し、前橋市の観光情報や魅力の発信を行うことで、交流人口並びに観光消費額の増加促進
 - ・SNS（Facebook、X、Instagram、LINE）による情報発信及びプロモーション
 - ・観光、コンベンション振興を目的とした広報活動用の写真貸出サイト（フォトライブラリー）の充実
- ⑥前橋駅イーサイト内デジタルサイネージ、ライブカメラを活用した観光情報発信

(2) 観光キャンペーンへの参加・プロモーションの実施

- ①観光キャンペーン・前橋市及び赤城山周辺エリアのプロモーション事業
 - ・前橋市公式マスコットキャラクターを活用したプロモーションの実施
- ②宣伝用ノベルティの作成・配付
 - ・前橋市及び赤城山周辺エリアの魅力発信のための各種キャンペーンやプロモーション用のオリジナルノベルティの作成
- ③首都圏等のマスコミ・旅行会社等への情報発信及び取材受入等
 - ・「10 県合同旅行マスコミ向け記者発表」の活用（毎月第 3 火曜日/随時）
 - ・プレスリリース配信サービスを利用した情報発信

(3) 国内外への旅行業者等への情報提供、問い合わせやオンライン商談等の実施

- ①雑誌社や旅行エージェントへの観光情報や写真素材の提供(随時)
- ②旅行会社への企画提供・誘客促進

- ・国内旅行会社に対し、各種ツアーの企画提案による前橋市への誘客促進活動

3. 観光団体・施設等との連携推進

(1) 他団体と連携した広域観光の推進

① 両毛線沿線市との連携事業

- ・両毛線沿線6市、JR東日本高崎支社、群馬県と連携し、両毛線沿線地域のプロモーション実施

② 群馬県及び群馬県観光物産国際協会(地域連携DMO)との連携事業

- ・他団体と連携し、継続的に素材の磨き上げや観光宣伝・プロモーション実施(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会、赤城山一周ルートサイクルツーリズム推進協議会等)
- ・各種研修への参加

③ 前橋市内宿泊施設への誘客のためのPR事業

- ・市内宿泊施設と連携した「前橋に泊まって当てようプレゼントキャンペーン」を実施し、アンケートを中心にデータ収集・分析することによる誘客PR
- ・インバウンド受入を視野に、旅館ホテル、観光施設、物販店などの各団体と連携し、業務型ワーケーションの検討や観光客受け入れの高付加価値化等、新たな受入体制の構築推進

④ 食ツーリズム事業

- 関係事業者と連携し、前橋の食の魅力発信や飲食店利用者の行動をデータ収集し、市内の周遊促進による経済発展に繋げる

4. 観光案内所等の運営

(1) 観光案内所の運営

「前橋駅観光案内所(前橋駅構内)」及び「道の駅まえばし赤城 観光案内所とアクティビティステーション」の運営

- ① 前橋市内のタイムリーな観光情報の提供と、観光客の利便性を向上させ、周辺の観光ゲートウェイ拠点となることを目指す
- ② JNTO 認定観光案内所として資質を維持し、来訪客の問い合わせ数やその内容についてのデータを収集
 - ・前橋駅観光案内所 認定カテゴリー1
 - ・道の駅まえばし赤城 観光案内所 認定カテゴリー2

Ⅲ. 観光振興事業

予算額 34,975,000 円

前橋市及びその周辺地域に密接な係わりを持ち、観光客の誘致が期待できる各種

イベントを主催、共催するとともに、集客力が高く前橋市のイメージアップ等に貢献すると認められるイベントの主催者に対し財政的支援を行うことにより、前橋の魅力を国内外に発信する事業

1. イベントの開催

(1) まつり行事、イベント等の実施及び助成

集客力が高く、観光客の誘致や都市イメージアップ等に貢献できるイベント等の開催経費等の一部負担などを行う。

七夕まつり（7月10日～12日）予定

前橋花火大会（8月8日）予定

前橋まつり（10月10日～11日）予定

ONSEN ガストロノミーツアーリズム

上州空っ風凧揚げ大会（2月）

初市まつり（1月9日）

上毛三山(赤城、榛名、妙義)スタンプラリー(7月～1月) 予定

計 7事業

(2) 観光啓発事業

地域の新たな魅力を見つけ出し、観光素材の磨き上げを行う。

①前橋観光百景写真コンテストの開催

2. イベントへの支援等

(1) 補助金の交付

市内で開催される各種まつり・イベント等、前橋の観光振興に寄与する事業へ補助金の交付を行う。

前橋八木節協会事業

前橋華龍太鼓振興会事業

酉の市まつり

ばら園まつり

大胡祇園まつり

計 5事業

(2) 観光振興のための二次交通支援、環境整備

まつり・イベント等の来訪者や国内外からの観光客の利便性を高めるため、二次交通支援としてバス等の運行補助や観光資源の環境整備を行う。

①二次交通支援

鉄道等から地域の観光拠点を結ぶバスや自転車等の二次交通を整備するなど、

来訪者の利便性を高めることで集客を図る。

②環境整備

観光客の安全管理のための看板設置

IV. 法人管理

予算額 29,535,000 円

その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1)各種会議の開催

①評議員会

②理事会

③観光専門委員会

④賛助会員等に向けた事業説明会

⑤その他、評議員・役員に関すること

(2)賛助会員

①賛助会員加入促進

②その他

(3)その他本協会に必要なこと

①経理業務

②庶務業務

③事務所維持管理

④インターネットを活用した広報及び情報提供

⑤会報発行

⑥職員研修の実施

⑦その他